

一般向け 今川図書館だより

いまがわーんど

2019年 7月号

今月のテーマ

「涼む」





今月の特集「涼む」

朝夕の打ち水、よしずにつたを絡ませた朝顔や、そよ風に揺れる風鈴の音。昔ながらの日本の夏には風情があります。

真夏日や熱帯夜の続く現代の夏、「いかに涼むか」が思案どころ。本の中で涼むのも、また趣がありそうです。

『空のアート 大気光学現象の神秘』

駒沢満晴 / 著 2013年 地人書館 451コ

暑い日にはネイチャーフォトを見て、気分だけでも自然にまかせてみてはいかがでしょうか。

本書は、撮影のアドバイス、撮影場所、データも収録された写真集。自然を見る目を養っている著者が撮影した、神秘の世界が広がります。空を見ると心が晴れ渡り、気分も涼やかになりそうです。



『妖怪の宴 妖怪の匣』

京極夏彦 / 著 2015年 KADOKAWA 388キ

2014年、妖怪ウォッチから始まった妖怪ブームに「まったく関係なく」妖怪・化け物・幽霊についてのあれこれを書いてみようかという本。

児童からゴジラまで、さまざまな回り道をしながら、より深く妖怪についてを愉しめるよう、博識な著者が考察していきます。表紙絵のイラストを見るだけでも、背中に涼しさを感じられ、こわいもの好きの方の好奇心を満たしてくれる本です。



『メダカ生活はじめませんか？』

馬場浩司 / 監修 2016年 ナツメ社 660ナ

水槽の水草がゆらゆらと揺れている。その間をすいすい泳ぐメダカたち。涼しげで愛らしい姿は、ずっと見ても飽きないことでしょう。

メダカは私たちと同じように、朝起きて活動し、夜になると眠る、規則正しい生活をしています。また、比較的丈夫で飼育し易い生き物です。主なエサはミジンコなどの動物プランクトンで、外敵から身を守るため集団で行動しています。

あなたも、この本を読んで、体長4センチメートルのかわいいメダカを飼ってみませんか。



『^{とび} 鳶 上空数百メートルを駆ける職人のひみつ』



多湖弘明 / 著 2014年 洋泉社 525タ

次々と建つ高層ビルやマンションにばかり、目をうばわれがちですが、これらの建物のとっかかりには、鳶の人たちの組んだ足場があります。

鳶の仕事は細かく分かれ、資格や免許でたずさわる仕事の内容も変わります。あのダボダボのスボンも、足元に意識がいくよう危険回避のためであり、職を極めるほど、スボンの色が濃紺になっていくようです。「涼しい」を通りこした高所で働く、鳶の人たちの写真も満載です。

工事現場には「鳶に始まり、鳶に終わる」という言葉があるそうです。高所で働きながら、街の土台である礎を築く。本書を読むと、建設現場の景色が違って見えるかもしれません。



『信州湿原紀行、花と緑に親しむ 46 コース』

日野東 / 写真・文 2016年 信濃毎日新聞社 **T**

ミスバショウにヒオウギアヤメ、サギソウなどの花々との出会い。あふれる緑の中での森林浴。夏の湿原は旅する者の目を楽しませ、心をリフレッシュさせてくれます。

本書では、湿原の種類とでき方、湿原探勝の準備とマナー、季節の花々などを紹介し、さらに、おすすめの湿原や探勝コースの地図とシュミレーション、アクセス方法など、細かいデータもていねいに取り上げています。

北アルプス、霧ヶ峰・蓼科、上信越高原と周辺、妙高戸隠連山、南信とその他、この5つのエリアの、臨場感あふれるアングルの写真は、見ていっただけで涼風が感じられます。暑い夏、ぜひ手に取っていただきたい一冊です。



『これだけで、幸せ 小川糸の少なく暮らす 29 カ条』

小川糸 / 著 2015年 講談社 **914.7 オカ**

衣食住の全てにおいて、選ぶ基準がはっきり決まっている。だから無駄なものは増えない…。

たとえば衣について。夏は涼しさを感じられる「麻」、軽くて肌になじむものを着る。食器棚は空気の通りがよいスペースに置く。布団や古い器も大切に使うなど、住についてもこだわりがあるが、なによりも食を大事にし、旅先でも自炊をこころがける。

「好きなもの、ひと、ことに囲まれて暮らしていきたい」という欲求が、小川糸さんの生活をより快適で、幸せなものにしている。シンプルで風通しのよい生活、参考にしてみたい。



YA におすすめ!



中高生のみなさんにおすすめの本を紹介します。

『アイマンガー三部作 ①堆塵館 ②穢れの町 ③肺都』

エドワード・ケアリー / 著 2017年 東京創元社 **933ケ (YA)**

19世紀後半のロンドン。ゴミで富を得たアイマンガー一族が巨大な屋敷に住んでいた。

一族のなかで、小さくて弱々しい15才のクロッドは、いとこたちにもいじめられていたが、実は物の声が聞こえるという能力を持っている。一方、間違えて召使いとして連れてこられた孤児の少女ルーシーは、何事にも勇敢に行動する。偶然に知り合った二人だが、機知をかきせながら、奇妙で恐ろしい運命に立ち向かっていく。

不気味な雰囲気イラストも著者本人が描いたもの。3冊読めば、アイマンガーの世界にどっぷりはまることでしょう。

◇◇巡回展示◇◇

「杉並区図書館をつかった

調べる学習コンクール入賞作品」

調べる学習コンクールの入賞作品（複製）を展示します。展示作品は、平成28年（第20回）の入賞作品です。調べる学習の進め方、まとめ方の例として、ぜひ、参考にしてください。

日時：7月5日（金）～12日（金）

場所：1階 展示コーナー



新着本コーナー

今川図書館に、新しく入った本から、おすすめの本を紹介します。

『作ってびっくり！かわいい草花あそび』



相澤悦子 / 著 2019年 日本写真企画 781.9ア

シロツメグサのかんむりや笹の船を作ったことはありますか。「草花あそび」は、身近な植物を折ってちぎって形をつくることで、植物の匂い、手ざわり、特徴など、普段だったら気付くことのない発見をすることが出来ます。

アジサイの葉で作るカタツムリ、アサガオの葉を利用した金魚など、本書では新しくかわいいあそび方を、写真でわかりやすく紹介しています。

さらに、草の高さなどの植物の特徴だけではなく、それらを見つける場所、遊べる時期も記載されており、本書を持って外に出かければ、すぐにも遊べます。「草花あそび」で、身近な草花と仲良くなって、自然を楽しみましょう。



☆☆七夕飾り☆☆

～ねがいごとを短冊に書いてみよう！～

図書館内の階段の横に大きな笹を用意しています。

短冊に、ねがいごとを書いて飾りましょう。

実施期間：6月29日（土）～7月7日（日）

場所：1階 どなたでもどうぞ



みどりのコーナー

地域の緑化推進を、本の子カラで強かにサポート。
今川図書館がおすすめする緑化関連資料をご紹介します。



『心に響く樹々の物語』

ダイアン・クック / 写真・文 日経ナショナルジオグラフィック社

2017年 650ク

「木は私たち人間がいなくても生きていけるが、私たちは木がなければ生きていけない。」人と自然の関わりをテーマに、多くの作品を発表してきた風景写真家の二人が世界59カ所を旅して出会った樹々の姿と物語を集めた写真集。

シッダールタが悟りを得たとされる菩提樹の子孫の木、ニュートンの生家の果樹園のリンゴの木……。木は水を守り、資源としても欠かせないが、それだけではない。存在することに意味がある。ただ静かにそこに在ることに勇気づけられる、荒野の目印のような一本の木が、あなたの心にも浮かぶでしょうか。

今川図書館のあれこれ♪「涼む」



☆今年も、西側の閲覧席前の中庭に、アサガオ、フウセンカズラ、トケイソウなど5種類の苗を植えました。すくすく育て、恒例のグリーンカーテンとなる日が今から楽しみです。水やりも頑張ります！



☆暑くなりました。エアコンで快適な温度調整を心がけておりますが、書架の配置やエアコンの位置により、冷房の効き具合が異なります。長時間ご利用される時には、はおるものを1枚お持ちいただくと、冷え過ぎ防止になりそうです。なお、今川図書館は杉並区の「涼み処」に指定されています。



7月今川図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	休館日			おはなし会		
7	8	9	10	11	12	13
	おはなし会	あかちゃん おはなし会		おはなし会		
14	15	16	17	18	19	20
	おはなし会			休館日		
21	22	23	24	25	26	27
	おはなし会			おはなし会	あかちゃん おはなし会	
28	29	30	31			

開館時間 月～土 9時～21時
 ■ の日（日曜・祝日）は9時～17時
休館日 第1月曜日・第3木曜日

おはなし会については、児童向け図書館だよりをご覧ください。

杉並区立今川図書館

杉並区今川4-12-10 TEL 03-3394-0431